

令和7年度

吉野川市立山川中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 聞いたり、読んだりしたことを通して、自分の考えや気持ちをまとめ、口頭や文章で表現できる生徒の育成
- 基礎・基本の学習が定着し、主体的に学習に取り組んでいける生徒の育成

校長

谷 陽子

学力向上推進員

佐藤 智美

【小中連携における共通の取組】

聞く力を育てるために、子ども同士で伝え合う機会を確保する。

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身についており、与えられた課題に真面目に取り組める生徒が多い。 ●書くことに苦手意識をもっている生徒が多く、語彙が少ない。また、長い文章を正確に読み取ったり、問いの意図を理解したりすることができない。	・各授業や生活において、集中して聞くことができる。 ・聞いた内容を理解することができる。	・授業や生活を通じて、聞くトレーニングを定期的に行い、聞く力や集中力を育む。また、聞いたことを伝え合う活動を実施する。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○調べ学習等でまとめたものを聞き手や読み手に配慮しながら、まとめたり、発表したりすることができる。 ●まとまりのある文章を書くことや、自分の意見や考えをまとめることに苦手意識がある。	・言語活動を行う際に、目的や場面、状況に応じて、聞いたことに対して適切に答えることができる。	・授業において、伝え合う活動等を行う際に、目的・場面・状況を設定し、活動する目的を明確にする。授業または単元の目標を生徒に提示することで、聞く動機付けを行う。 ・「話し合いの手引き」を作成し、自分のことばで伝えることができる指導を行う。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題については、真面目に根気強く取り組み、提出することができる。 ●自ら学習課題を設定し、粘り強く取り組むことが難しい。	・自分の学習の状況をしっかり振り返り、目標を設定できる。また、それを達成するための計画を立てて、取り組むことができる生徒を育成する。	・生徒に学びの振り返りをさせるとともに、多様な学びの記録を作成して、主体的に学習に取り組む態度を育てる。			